

事務事業評価シート(平成20年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

| | | | | | |
|----------------|--|--|-----------------|----------------|--|
| 事務事業コード | 事務事業名 | 担当課 | 担当係名 | 所属長(課長等)名 | 担当者係長名 |
| 03203 | 河川愛護事業 | 住民税務課 | 生活環境係 | 林 龍太郎 | 赤羽 博 |
| | | 一次評価年月日 | 平成 21 年 7 月 2 日 | 連絡先(内線) | 2112 |
| 事務事業実施の根拠・位置づけ | 予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名) | 会計区分 | | 事業コード | 事業名(歳出予算見積書) |
| | | <input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 | 0404 | 環境衛生事業 | |
| | <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別 | #N/A | | | |
| | 第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ | 章 (コード選択) | 1章 | 美しく豊かな自然環境 | |
| | | 節 (コード選択) | 3節 | 地方分権化に積極的に対応する | |
| | | 項[基本施策] (コード選択) | 131 | 水源環境の保全と活用 | |
| 主な取り組み (コード選択) | | 1312 | 主要河川、井戸の水質測定 | | |
| 関連する計画等への位置づけ | <input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他 | | | | |
| 事務期間 | (開始) 57 | 年度 | L | 開始時期不明 | <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし |

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

町内の各河川及びその沿岸

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

町内主要河川の水質検査を定期的に行い、河川の水質状況を数値で把握する。アレチウリ等の外来種の駆除及び沿岸のごみ拾い等を行い、親しみやすい環境をつくる。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

| | |
|---|--|
| 1 | 町内主要河川の水質測定(測定地点14カ所) 河川:①横川川 ②小野川 上流 ③小野川 下流 ④飯沼川 ⑤小横川川 ⑥天竜川 上流 ⑦天竜川 下流 ⑧沢底川 ⑨上野川 ⑩東天竜 ⑪上井(下流) ⑫下辰野水路 ⑬宮木せぎ ⑭鴻の田川 |
| 2 | 住民・区役員及びボランティア団体等によるアレチウリ駆除の実施及び行政・各団体等による河川パトロール、河川清掃の実施 |
| 3 | |
| 4 | |

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

| 区分 | 単位 | 実績値 | | 計画値 | | 最終目標年度 | |
|----|-----|---------------------|------|--------------------------|----|-----------|---------|
| | | 19年度 | 20年度 | 21年度(見込み) | | 22年度(見込み) | 年度(見込み) |
| ① | 指標名 | 水質測定実施回数(1カ所当たり) | | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 説明 | 水質検査河川の測定回数 | | 目標値設定の根拠 実績数値 | | | |
| ② | 指標名 | アレチウリ駆除及び河川清掃等実施団体数 | | 15 | 13 | 16 | 17 |
| | 説明 | 各区・団体・行政及びボランティア団体数 | | 目標値設定の根拠 各区・団体等から報告のあった数 | | | |

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

| 区分 | 単位 | 実績値 | | 計画値 | | 最終目標年度 | |
|----|-----|--|------|---|-----|-----------|---------|
| | | 19年度 | 20年度 | 21年度(見込み) | | 22年度(見込み) | 年度(見込み) |
| ① | 指標名 | 環境基準(BOD)超過箇所数 | | 4 | 3 | 0 | 0 |
| | 説明 | (BOD:生物化学的酸素要求量)有機物による河川水などの汚濁の程度を示すもの | | 目標値設定の根拠 年4回測定のうち、1回でも基準値を超過した数(同一河川で年数回超過した場合はそれぞれにカウント) | | | |
| ② | 指標名 | アレチウリ駆除及び河川清掃等参加者数 | | 333 | 338 | 350 | 370 |
| | 説明 | 実施報告があった人数を記載。(未報告の団体もある) | | 目標値設定の根拠 レチウリ駆除実施区については参加者報告があるが、河川清掃等については参加者数は把握していない。 | | | |

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

| ○総事業費(コスト概算) | =①+② | (千円) | 平成19年度 | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|------|---------------------------------------|--------|--------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| | | | 決算 | 決算 | 見込み | 見込み | | | | | | | | | | | | | | |
| 対前年比 | | % | 549 | 548 | 549 | 554 | | | | | | | | | | | | | | |
| A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など) | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | | | | | | | | | | |
| B) 一般財源(税金) | | | 549 | 548 | 549 | 554 | | | | | | | | | | | | | | |
| ①事業費 | | (千円) | 436 | 436 | 436 | 441 | | | | | | | | | | | | | | |
| 対前年比 | | % | | 100 | 100 | 101.1 | | | | | | | | | | | | | | |
| ②人件費の概算 | | (千円) | 113 | 112 | 113 | 113 | | | | | | | | | | | | | | |
| 対前年比 | | % | | 99.6 | 100.2 | 100 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 課長 | 課長補佐 | 係長 | 一般職員 | 延べ人数 | 年間人件費 | 年間人件費 | 年間人件費 | 年間人件費 | | | | | | | | | |
| | | | H20 | H21 | H22 | H20 | H21 | H22 | H20 | H21 | H22 | H19 | H20 | H21 | H22 | | | | | |
| 町職員(正規職員) | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| 臨時職員 | | | 人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | | | | | |

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

| 視点 | 項目別評価 | 判定 | 評価結果 |
|-------|--|----|---|
| 必要性 | 1. 事業のニーズに変化はありますか | B | A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している |
| | 2. 町(行政)が関与する必要性がありますか | B | A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する |
| 目的妥当性 | 3. 対象の設定は妥当ですか | A | A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある |
| | 4. 目的(意図)の設定は妥当ですか | A | A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある |
| 有効性 | 5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度) | B | A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない |
| | 6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて) | A | A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない 施策コード(112)主取組コード(1126)でアレチウリ駆除実施 |
| 効率性 | 7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか | B | A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり |
| 公平性 | 8. 受益者負担は適切ですか | A | A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり |
| その他 | 9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか | C | A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 河川水質測定は経過観察が主目的。検査結果の周知は今後検討。 河川清掃等は住民の自主的活動として捉えている。 |

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

河川愛護会への補助金(助成金)は平成18年度末で廃止

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

水質測定の結果を町民に周知する方法を検討する。
(当年度分の結果が出たところで広報に掲載する)
アレチウリの駆除等については、区長会、衛生自治会等を通じて今後も啓発を行う。

21年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

地域住民が川と接し、ふれあうことにより、自分の地域は自分で守っていくという意識を定着すればと考える。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 口を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

上記 a~e を選択